

# 令和6年度にじの丘学園学校評価アンケート結果の分析と考察

皆様にご協力いただいた学校評価アンケートについて、以下のようにまとめました。ぜひご一読ください。よろしくお願いいたします。

## I 実施期日

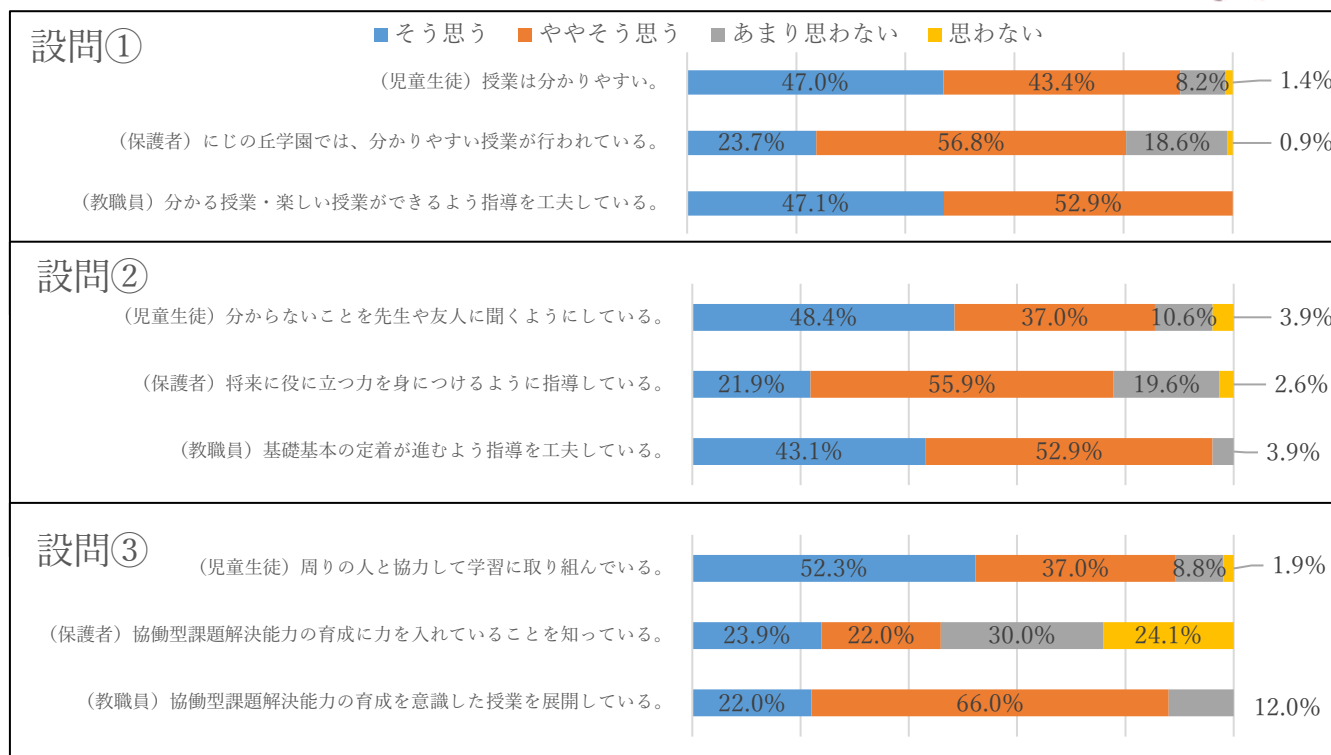
令和6年12月：外部アンケート（児童生徒・保護者・地域）自己評価（教職員）

令和7年 2月：学校関係者評価（学校運営協議会）



## II 分析と考察

### 【学び】設問①～④



### [成果と課題]

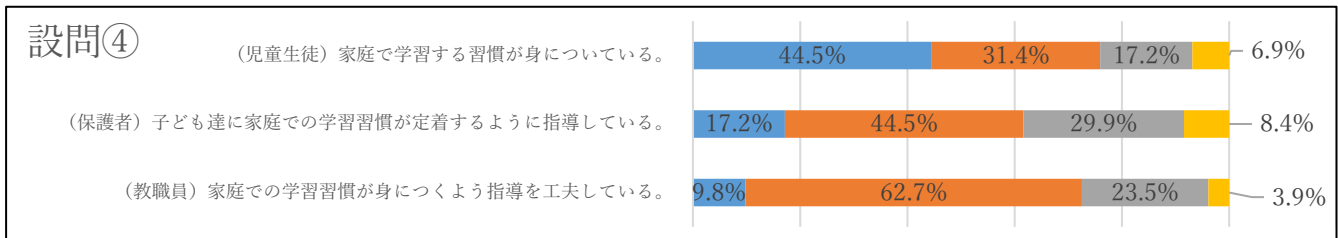
#### 1 授業について

本学園では、約90%の児童生徒が「授業が分かりやすい」と回答しています。しかし、中学校に限って見ると、否定的な回答が約13%ありました。中学生になると、学習内容が難しくなり、学習量も増えるため、戸惑う児童生徒が多いようです。今後も授業の改善を進め、子どもたちが主体的に学びに取り組めるよう、分かりやすい授業の実践に努めていきます。

昨年度に引き続き、保護者の方々には「分かりやすい授業」という認識が十分に浸透していない状況です。その理由として、保護者の方々が学習の様子を知る機会が少ないため、児童生徒との認識にギャップがあることが考えられます。今後は、公開授業や学校ホームページなどを活用し、より深い保護者と教職員のコミュニケーションを図っていきます。

本学園の大きな柱である「協働型課題解決能力の育成」については、児童生徒および教職員の意識が高い一方で、保護者の認知度は半数以下にとどまっています。このことから、児童生徒が学びの成果をより実感できるよう努めるとともに、地域や保護者の方々にもその成果を広く知っていただき、支援していただけるよう、授業研究と情報発信を継続していきます。

本学園では、基礎・基本を重視した学習を進めており、その方針は教職員の94.2%が支持しています。しかしながら、基礎・基本の習得に不安を抱く児童生徒も多いのが現状です。授業が楽しいと感じることは、学校生活の充実にもつながります。今後も、楽しい授業の土台となる基礎・基本を重視しながら、学びの充実を図っていきます。



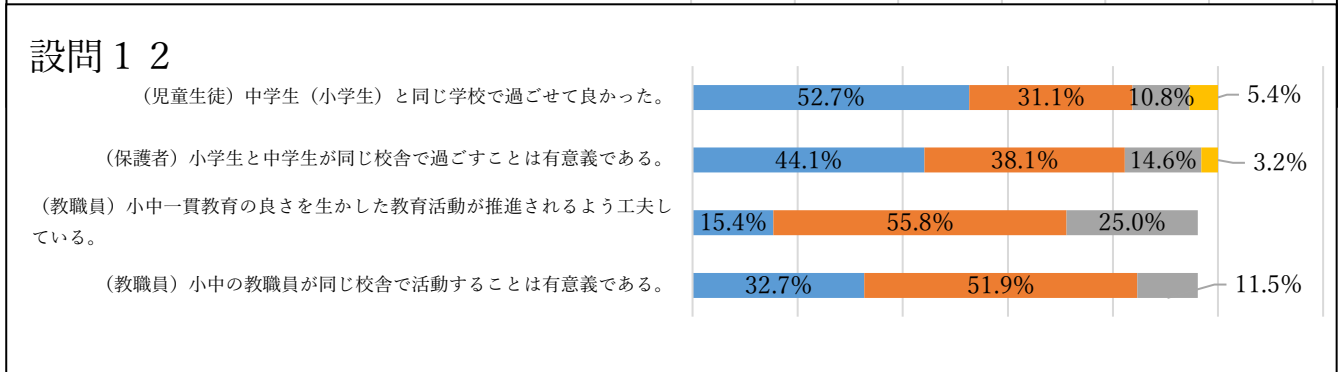
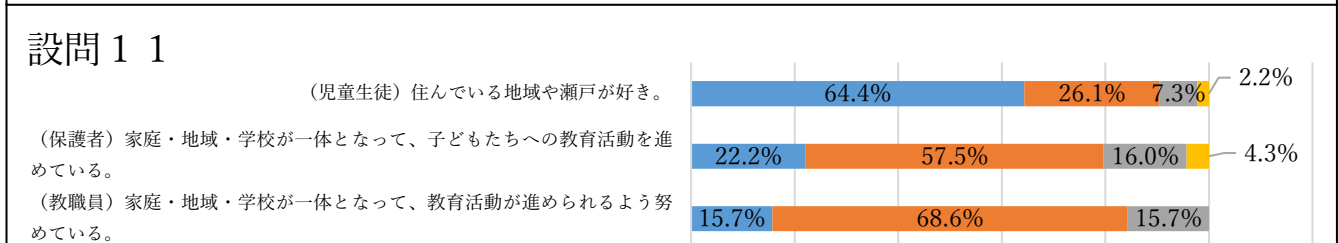
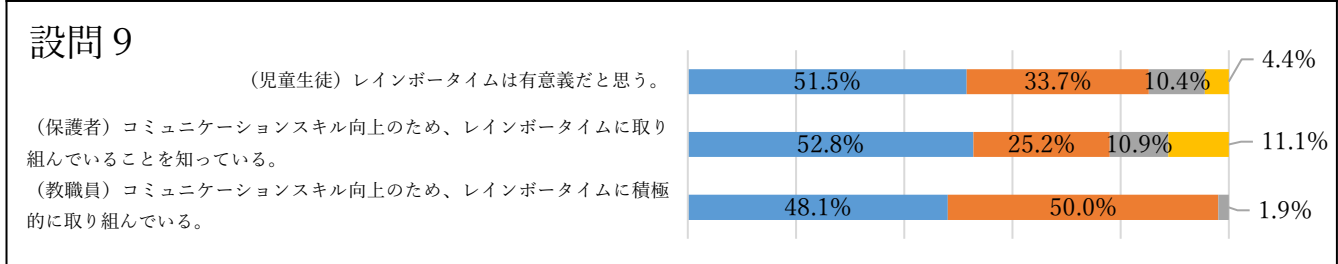
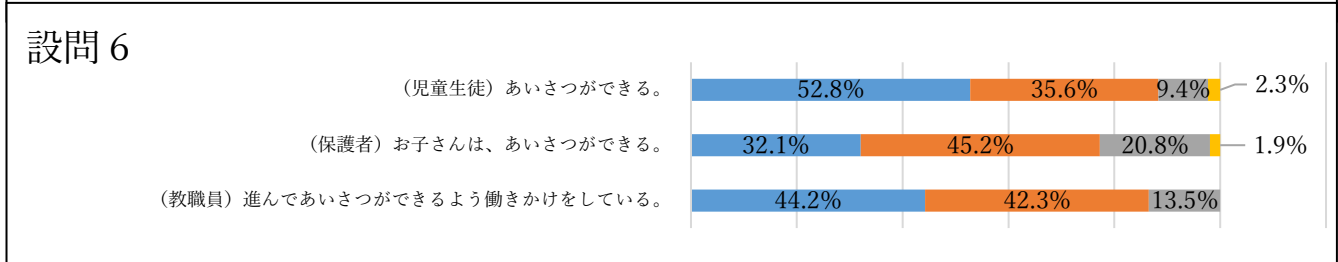
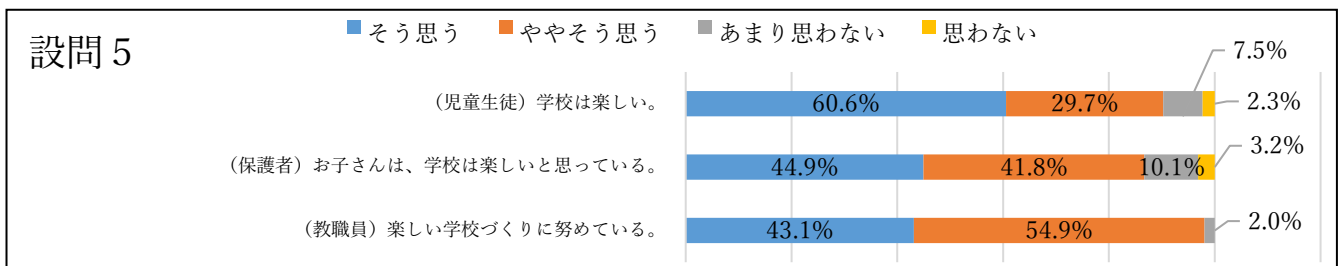
#### [成果と課題]

### 2 家庭学習について

本学園の大きな課題である「家庭での学習習慣」については、教職員、保護者共に60%以上が肯定的に捉えている。一方、保護者の約40%が家庭学習の進め方の改善を求めている。引き続き、家庭学習の進め方をよりわかりやすく児童生徒に伝えるとともに、ICTを効率よく活用しながら、その習慣化を図っていきたい。

また、保護者にもホームページや通信で「家庭学習のススメ」をもとに、その目的や進め方を伝えていき、学校と家庭とが連携して取り組んでいきたい。

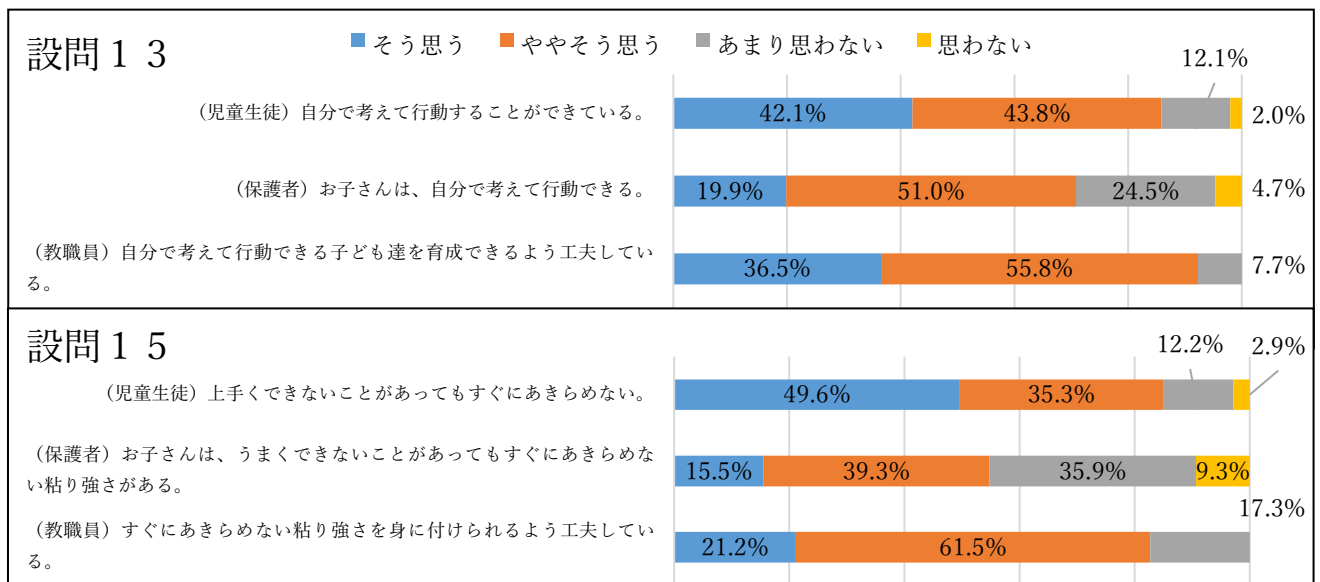
#### 【つながり】設問⑤～⑫



[成果と課題]

- 「学校は楽しい」と回答した児童生徒、保護者、教職員は86%以上に達し、多くの子どもたちが楽しい学校生活を送っていることが分かります。しかし、一方で約10%の児童生徒が楽しくないと感じながら登校していることも事実です。今後も一人ひとりに目を向け、スクールライフノートを活用しながら、小さな変化を見逃さず、問題があった場合には迅速に対応できるよう努めていきます。
- 生徒指導の重点目標の一つである「あいさつ」について、約88%の児童生徒が「あいさつができる」と回答しています。しかし、地域や保護者の方々の認識は異なり、まだまだ気持ちの良いあいさつをする児童生徒は少ないと感じているようです。今後も地域・保護者・学校が一体となり、「まず大人から」を合言葉に、あいさつ運動を進めていきます。
- 短時間グループアプローチ「レインボータイム」を開始して5年が経過し、本学園の特色として定着してきました。児童生徒の肯定的な回答は85.2%と高く、その価値を実感していることが分かります。この成果として、思いやりの心が育まれ、優しい児童生徒が増えていると感じています。今後は、この力を授業や実生活で発揮できるよう指導していきます。
- 「地域連携」について、児童生徒および保護者の約80%が肯定的に回答しており、本学園の地域力の高さがうかがえます。今年度も多くの方々に登下校の見守り、授業ボランティア、校外学習の引率補助などを通じて、本学園の教育活動に関わっていただきました。このように地域と学校が強く結びつくことで、学校の課題が解決される場面も多くなりました。今後は「学校から地域へ」を合言葉に、情報発信や地域交流を進めていきます。
- 「小中一貫教育」については、児童生徒の肯定的な回答が昨年に続き多く見られました。これは、授業や学園祭、レインボータイムなどを通じた異学年交流の成果と考えられ、中学生が小学生を思いやる気持ちが大きに育まれていると感じています。一方で、教職員の意識は昨年と比較して低下傾向にあります。児童生徒数の増加により、学校行事などの企画運営が難しくなっていることも要因の一つです。今後は、教職員がチームで企画運営できる体制を整え、施設一体型の利点を生かした小中一貫教育をより発展させていきます。

[挑戦] 設問⑬～⑮

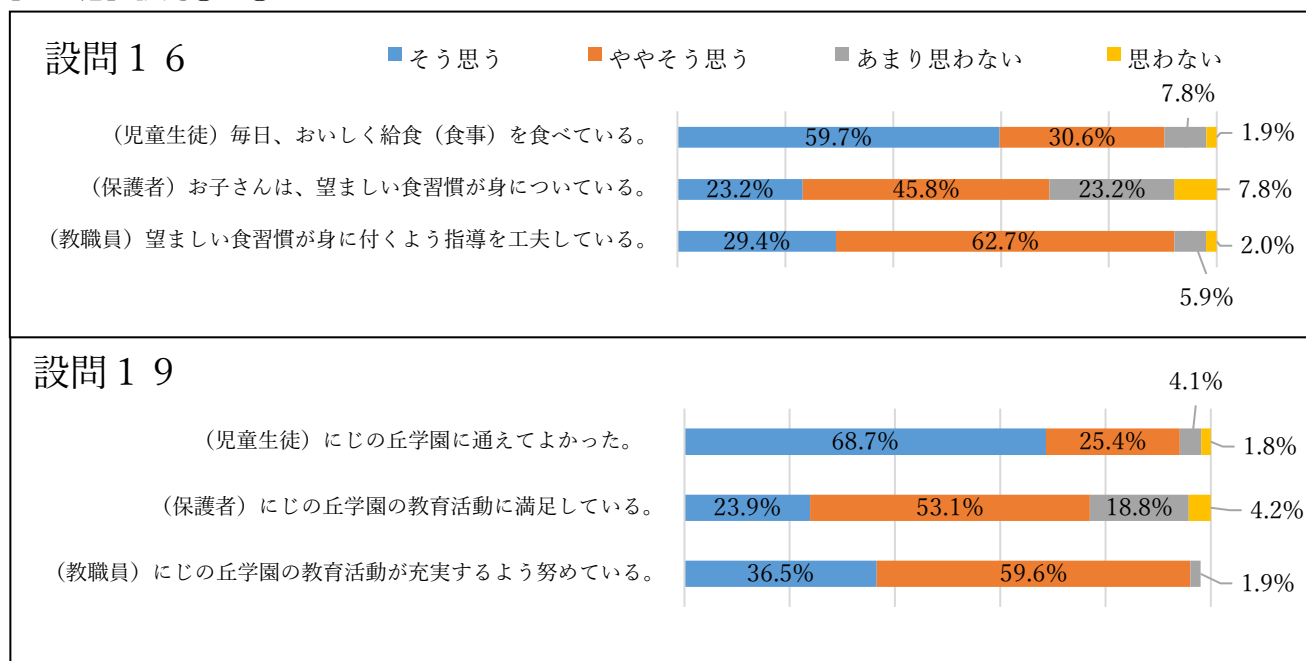


[成果と課題]

- 本学園では、「自主自律」(設問⑬)「向上心」(設問⑭)「粘り強さ」(設問⑮)について、児童生徒の85%以上が肯定的に回答しました。しかし、保護者の受け止め方は昨年度と同様に否定的な回答が約30%を占める結果となりました。その原因として、学校では課題解決能力の育成を進めているものの、実生活で十分に発揮されていない現状があると考えられます。また、目標を立てたり、目標達成のための計画を立てたりすることが苦手で、指示されたことや与えられたことをこなす受け身の活動が依然として多いことも要因の一つと考えられます。

このことから、引き続き児童生徒が主体となる教育活動を推進し、「自主自律」「向上心」などの力を育み、それを学校生活や実生活の中で発揮できる機会をさらに増やしていきます。

【その他】設問⑩～⑱



【成果と課題】

- 「食」と「健康・安全」について、本学園ではその重要性を重視しており、児童生徒・教職員ともに昨年度と同様に高い評価を示しました。今後も、養護教諭や栄養教諭を中心に、全職員で啓発活動を継続し、家庭や地域にも本学園の取り組みを広く認知してもらえるよう努めていきます。
- 本学園の満足度について、保護者の満足度(設問⑩)は77%となり、全体の約8割の方にご理解をいただきました。また、児童生徒・教職員の約95%が本学園に対して高い満足度を示しています。今後も、保護者や地域の皆様により満足していただける学校づくりに努めていきます。

【自由記述】

- 授業、家庭学習、ICT活用についてご意見をいただきました。授業に関しては、「分からないところがあってもなかなか質問できない」という意見が寄せられました。やはり、学習のキーワードは「個別」と「協働」であり、その両輪をバランスよく組み合わせた学習が求められています。  
「分かった」「できた」という積み重ねや、仲間と関わりながら互いの考えを共有し深めていく経験、そして家庭学習の習慣化が、基礎基本の定着とともに、より深い学びへとつながると考えています。今後も、授業と家庭学習の改善に努め、タブレットを活用したICTの効果的な活用についても引き続き模索していきます。
- 行事、小中一貫教育、情報発信、生徒指導、保健、給食、学習環境についてご意見をいただきました。行事については、「学校行事をもっと増やしてほしい」という要望がありました。また、情報発信に関しては、「学校やコミュニティ・スクールの取り組みについてもっと知りたい」という意見が寄せられました。こうしたご意見を前向きに捉え、児童生徒とともによりよい行事を作り上げていくとともに、情報発信の改善に努めていきます。
- 本学園の教職員に関するご意見もいただきました。子どもたちに寄り添った教育は、すべての教職員が常に心がけていることです。「誰一人として取り残さない」を念頭に置き、子どもたちや保護者、地域から信頼される教職員として、安心・安全な学校づくりにチーム一丸となって取り組んでいきます。  
また、児童生徒数の増加に伴う教育環境の整備については、市と連携しながら進めるとともに、教職員がより働きやすい環境づくりにも一層努めていきます。

4 登下校の様子やシステムについて、また小学校の通学班やバス乗車時のマナーについて、改善を求めるところをいただきました。これを受けて、現在、通学班会の回数を増やし、交通安全や乗車マナーについて子どもたちと繰り返し確認する時間を設けています。今後は、家庭でのマナー教育にもご協力をいただきながら、よりよい登下校の実現に努めていきます。

また、現在、見守りボランティアの方々のご協力のもと、子どもたちが安心・安全に登下校できる環境が整っています。本学園の特徴であるバス通学についても、登下校ボランティアの方や添乗員のシルバー人材の皆様のお力添えをいただいています。しかし、ボランティア希望者の減少が課題となっています。この問題の解決に向けて、保護者や地域の皆様とともに引き続き検討を重ねていきます。

#### <おわりに>

にじの丘学園は開校5年目を迎え、さらなる進化を求め、教育目標である「学び」「つながり」「挑戦」の実現に向けて、教職員一同が協力し努力を続けています。コロナ禍を経て、ICT 機器やネット環境の整備が進み、教育環境は向上しました。しかし、人との関わりを苦手とする子どもや登校を渋る子どもの増加など、新たな課題も生じています。これらの課題を解決するために、恵まれた教育環境を最大限に活用し、地域と連携しながら学びを育み、つながりを強化し、新たな挑戦を続けてまいります。

今年度も、昨年度と同様に、皆様から忌憚のないご意見をいただきましたことに心より感謝申し上げます。いただいた貴重なご意見を参考にしながら今年度を振り返り、次年度の計画に生かしてまいります。今後とも、にじの丘学園をどうぞよろしくお願いいたします。



## 令和6年度 にじの丘学園 学校評価の集計結果について

※ 昨年度と比較し分析する上で、項目の「知らなかった」を含まず集計しております。

肯定的意見の比較

設問①		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	肯定的意見の比較		増減
						令和6年度	令和5年度	
授業は分かりやすい。  にじの丘学園では、分かりやすい授業が行われている。  分かる授業・楽しい授業ができるよう指導を工夫している。	児童生徒	47.0%	43.4%	8.2%	1.4%	90.4%	91.8%	↓ -1.4%
	保護者	23.7%	56.8%	18.6%	0.9%	80.4%	86.1%	↓ -5.6%
	教職員	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
設問② 分からないことを先生や友人に聞くようにしている。  にじの丘学園では、将来に役に立つ力を身につけるように指導している。  基礎基本の定着が進むよう指導を工夫している。	児童生徒	48.4%	37.0%	10.6%	3.9%	85.5%	86.0%	↓ -0.6%
	保護者	21.9%	55.9%	19.6%	2.6%	77.8%	80.2%	↓ -2.4%
	教職員	43.1%	52.9%	3.9%	0.0%	96.1%	97.1%	↓ -1.0%
設問③ 周りの人と協力して学習に取り組んでいる。  にじの丘学園が、協働型課題解決能力の育成に力を入れていることを知っている。  協働型課題解決能力の育成を意識した授業を展開している。	児童生徒	52.3%	37.0%	8.8%	1.9%	89.3%	91.0%	↓ -1.7%
	保護者	23.9%	22.0%	30.0%	24.1%	45.9%	47.6%	↓ -1.7%
	教職員	22.0%	66.0%	12.0%	0.0%	88.0%	89.4%	↓ -1.4%
設問④ 家庭で学習する習慣が身についている。  にじの丘学園では、子ども達に家庭での学習習慣が定着するように指導している。  家庭での学習習慣が身につくよう指導を工夫している。	児童生徒	44.5%	31.4%	17.2%	6.9%	75.9%	75.9%	
	保護者	17.2%	44.5%	29.9%	8.4%	61.6%	62.3%	↓ -0.7%
	教職員	9.8%	62.7%	23.5%	3.9%	72.5%	77.3%	↓ -4.7%
設問⑤ 学校は楽しい。  お子さんは、学校は楽しいと思っている。  楽しい学校づくりに努めている。	児童生徒	60.6%	29.7%	7.5%	2.3%	90.2%	89.8%	↑ 0.5%
	保護者	44.9%	41.8%	10.1%	3.2%	86.7%	87.5%	↓ -0.7%
	教職員	43.1%	54.9%	2.0%	0.0%	98.0%	98.6%	↓ -0.5%
設問⑥ あいさつができる。  お子さんは、あいさつができる。  進んであいさつができるよう働きかけをしている。	児童生徒	52.8%	35.6%	9.4%	2.3%	88.3%	87.0%	↑ 1.4%
	保護者	32.1%	45.2%	20.8%	1.9%	77.3%	78.5%	↓ -1.2%
	教職員	44.2%	42.3%	13.5%	0.0%	86.5%	91.5%	↓ -5.0%
設問⑦ いじめはいけないことだ。  にじの丘学園は、いじめや諸問題に対して迅速な対応をしている。  いじめや諸問題に対して迅速かつ適切に対応できている。	児童生徒	90.6%	7.9%	0.8%	0.7%	98.5%	98.3%	↑ 0.2%
	保護者	24.2%	40.8%	27.3%	7.7%	65.0%	70.1%	↓ -5.1%
	教職員	51.9%	44.2%	1.9%	1.9%	96.2%	95.7%	↑ 0.4%

設問⑧	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減	
他人を思いやることができている。	児童生徒	48.8%	43.0%	7.1%	1.0%	91.9%	91.2%	↑ 0.7%
お子さんは、他人を思いやることができる。	保護者	50.1%	43.2%	6.1%	0.6%	93.3%	96.6%	↓ -3.3%
思いやりの心や優しさが育つよう働きかけている。	教職員	48.1%	46.2%	5.8%	0.0%	94.2%	95.7%	↓ -1.5%

設問⑨	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減	
レインボータイムは有意義だと思う。	児童生徒	51.5%	33.7%	10.4%	4.4%	85.2%	87.3%	↓ -2.1%
にじの丘学園が、コミュニケーションスキル向上のため、レインボータイムに取り組んでいることを知っている。	保護者	52.8%	25.2%	10.9%	11.1%	78.0%	79.8%	↓ -1.8%
コミュニケーションスキル向上のため、レインボータイムに積極的に取り組んでいる。	教職員	48.1%	50.0%	1.9%	0.0%	98.1%	92.8%	↑ 5.3%

設問⑩	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減	
行事、授業、部活動等で励まし合ったり協力したりできる。	児童生徒	50.9%	40.5%	6.7%	1.9%	91.4%	90.9%	↑ 0.5%
お子さんは、励まし合ったり協力したりすることができる。	保護者	39.5%	50.0%	9.2%	1.3%	89.5%	91.6%	↓ -2.1%
行事や授業、部活動等で子ども達が励ましあったり協力したりできる工夫をしている。	教職員	48.1%	50.0%	1.9%	0.0%	98.1%	94.3%	↑ 3.8%

設問⑪	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減	
住んでいる地域や瀬戸が好き。	児童生徒	64.4%	26.1%	7.3%	2.2%	90.5%	87.2%	↑ 3.3%
にじの丘学園は、家庭・地域・学校が一体となって、子どもたちへの教育活動を進めている。	保護者	22.2%	57.5%	16.0%	4.3%	79.7%	82.6%	↓ -2.9%
家庭・地域・学校が一体となって、教育活動が進められるよう努めている。	教職員	15.7%	68.6%	15.7%	0.0%	84.3%	73.5%	↑ 10.8%

設問⑫	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減	
中学生（小学生）と同じ学校で過ごせて良かった。	児童生徒	52.7%	31.1%	10.8%	5.4%	83.8%	82.5%	↑ 1.2%
小学生と中学生が同じ校舎で過ごすことは有意義である。	保護者	44.1%	38.1%	14.6%	3.2%	82.2%	86.3%	↓ -4.1%
小中一貫教育の良さを生かした教育活動が推進されるよう工夫している。	教職員	16.0%	58.0%	26.0%	0.0%	74.0%	86.4%	↓ -12.4%
小中の教職員が同じ校舎（職員室）で活動することは有意義である。	教職員	34.0%	54.0%	12.0%	0.0%	95.2%	95.2%	

設問⑬	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減	
自分で考えて行動することができる。	児童生徒	42.1%	43.8%	12.1%	2.0%	85.9%	86.9%	↓ -1.0%
お子さんは、自分で考えて行動できる。	保護者	19.9%	51.0%	24.5%	4.7%	70.8%	70.0%	↑ 0.8%
自分で考えて行動できる子ども達を育成できるよう工夫している。	教職員	36.5%	55.8%	7.7%	0.0%	92.3%	88.6%	↑ 3.7%

設問⑭	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減	
自分の目標に向けて努力している。	児童生徒	48.9%	36.9%	11.5%	2.7%	85.8%	85.9%	↓ -0.1%
お子さんは、自分の目標に向けて努力している。	保護者	24.0%	45.0%	24.7%	6.3%	69.0%	68.9%	↑ 0.2%
目標に向けて努力する子ども達を育成できるよう工夫している。	教職員	27.5%	64.7%	7.8%	0.0%	92.2%	94.3%	↓ -2.1%

設問⑮

上手くできないことがあってもすぐにあきらめない。

お子さんは、うまくできないことがあってもすぐにあきらめない粘り強さがある。

すぐにあきらめない粘り強さを身に付けられるよう工夫している。

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減
児童生徒	49.6%	35.3%	12.2%	2.9%	85.0%	86.6%	↓ -1.7%
保護者	15.5%	39.3%	35.9%	9.3%	54.8%	52.1%	↑ 2.7%
教職員	21.2%	61.5%	17.3%	0.0%	82.7%	81.2%	↑ 1.5%

設問⑯

毎日、おいしく給食（食事）を食べている。

お子さんは、望ましい食習慣が身についている。

望ましい食習慣が身に付くよう指導を工夫している。

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減
児童生徒	59.7%	30.6%	7.8%	1.9%	90.3%	89.1%	↑ 1.2%
保護者	23.2%	45.8%	23.2%	7.8%	69.0%	69.3%	↓ -0.4%
教職員	29.4%	62.7%	5.9%	2.0%	92.2%	85.7%	↑ 6.4%

設問⑰

健康・安全を考えた生活ができています。

お子さんは、健康・安全に関する意識が高まっている。

健康・安全に関する意識が高まるよう指導を工夫している。

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減
児童生徒	48.6%	42.0%	7.7%	1.7%	90.6%	90.6%	
保護者	23.9%	47.9%	23.8%	4.4%	71.8%	71.9%	↓ -0.1%
教職員	37.3%	51.0%	9.8%	2.0%	88.2%	91.3%	↓ -3.1%

設問⑱

学校で配られたお便りをきちんとおうちのの人に渡している。

にじの丘学園は、通信やホームページなどで学校の様子をわかりやすく伝えている。

通信などで、学校の様子をわかりやすく伝えることに努めている。

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減
児童生徒	45.9%	33.8%	14.2%	6.1%	79.7%	82.2%	↓ -2.5%
保護者	32.2%	51.5%	12.1%	4.1%	83.7%	87.4%	↓ -3.6%
教職員	22.9%	58.3%	16.7%	2.1%	81.3%	85.1%	↓ -3.8%

設問⑲

にじの丘学園に通えてよかった。

にじの丘学園の教育活動に満足している。

にじの丘学園の教育活動が充実するよう努めている。

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減
児童生徒	68.7%	25.4%	4.1%	1.8%	94.1%	92.7%	↑ 1.4%
保護者	23.9%	53.1%	18.8%	4.2%	77.0%	80.0%	↓ -3.0%
教職員	37.3%	60.8%	2.0%	0.0%	98.0%	98.6%	↓ -0.5%

設問⑳

にじの丘学園は、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	令和6年度	令和5年度	増減
教職員	43.8%	45.8%	8.3%	2.1%	89.6%	81.4%	↑ 8.2%



## 令和6年度 にじの丘学園と地域に関するアンケート結果

肯定的意見

設問①	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	令和6年度
にじの丘学園の児童生徒は楽しそうに学校へ通っている。	44.4%	28.6%	7.9%	1.6%	17.5%	73.0%

設問②	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	令和6年度
にじの丘学園は地域にとって誇れる学校である。	47.6%	41.3%	4.8%	0.0%	6.3%	88.9%

設問③	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	令和6年度
にじの丘学園の児童生徒は、あいさつができる。	11.1%	44.4%	23.8%	7.9%	12.7%	55.6%

設問④	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	令和6年度
にじの丘学園の児童生徒は、登下校時、交通ルールやその他のマナーなど守っている。	17.5%	46.0%	20.6%	4.8%	11.1%	63.5%

設問⑤	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	令和6年度
にじの丘学園は、地域のつながりを大切にしている。	23.8%	42.9%	15.9%	1.6%	15.9%	66.7%

設問⑥	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	令和6年度
にじの丘学園では、小学生と中学生が同じ校舎で過ごすことのよさが出ている。	31.7%	36.5%	4.8%	1.6%	25.4%	68.3%

設問⑦	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	令和6年度
にじの丘学園は、通信（たより）やホームページなどで学校の様子を分かりやすく伝えている。	17.5%	50.8%	14.3%	0.0%	17.5%	68.3%

設問⑧	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	令和6年度
にじの丘学園は、外来者への対応が丁寧で適切である。	28.6%	25.4%	3.2%	4.8%	38.1%	54.0%

設問⑨	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない	令和6年度
にじの丘学園は、地域・家庭・学校が一体となって、子どもたちへの教育活動を進めている。	24.2%	27.4%	11.3%	4.8%	32.3%	51.6%